



心肺蘇生法や放水など体験

婦人消防連絡協議会が研修会実施



防火服を着て消防隊員とともに放水する遠藤さん

町婦人消防連絡協議会(土屋紀伊子会長)の研修会が7月18日、猪苗代消防署で開かれ、同会の会員ら約20人が参加しました。

会員らは、消防署職員の指導のもと、AED(自動体外式除細動器)を使って心肺蘇生法を行う普通救命講習を受講。その後水消火器での放水訓練をし、万一来臨に備えました。研修会の最後には、消防署員が火災現場で着る防火服を会員が着用し、ポンプ車から放水。仲間の雄姿に拍手と歓声が上がりました。

研修会に参加した遠藤妙子さんは「万が一のときには、今日教わったことをあせらずに実践したい」と感想を述べました。

日頃の感謝の気持ち込めて

長瀬小児童が町内の施設に花配布



役場を訪れた高橋さん(左)と本多さん(右)

長瀬小学校児童会の代表委員らは7月4日、花を植えたプランターを、町内の各施設に配りました。

この活動は、町内の美化と児童たちの地域への感謝を表す行動として、毎年実施されてきたものです。

配布は6年生の代表委員6人が、3班2人ずつに分かれて実施。町役場、いなわしろホーム、郵便局や農協など10カ所以上にプランターを配りました。

花を届けに町役場を訪れた高橋憲人さんと本多麻友子さんは「配った花で町がきれいになればうれしい」と話しました。

見て、体験して祭り楽しむ

学びいな夏まつりが開催される



好評を博したゴム銃大会の様子

2012 学びいな夏まつりは7月22、23の両日、学びいなかで開催されました。

学びいなかでは、町体験交流協会加入団体などの作品が展示されたほか、紙バンド小物作り、デッサン体験、リース作りなどの体験メニューも実施されました。

屋外では、オカリナ奏者などによるミニコンサートが開かれたほか、お城山を探検する「もりもり探検隊」など、自然環境を利用したイベントも実施されました。学びいな駐車場では、ミニSLやミニ電車も運行し、親子連れなどから好評を博しました。

林の中や浜辺を駆け抜ける

県内で初のシクロクロス大会開催



浜辺を走る選手ら。湖の中を走る選手の姿も

猪苗代湖の天神浜で7月22日、県内で初となるシクロクロスの大会「TOHOKU CX Project2012 第1戦 猪苗代大会」が開催されました。シクロクロスとは、障害物がある不整地の周回コースを走る自転車競技で、もともとはロードレース選手の冬季トレーニングとして始まったもの。この大会には東北や関東から約70人の選手が参加し、林の中や浜辺を駆け抜けました。

大会の運営に携わり、選手としても出場した森山栄幸さんは「砂浜など、他にはないコースを体験できるのが猪苗代の魅力。レース後のビールがおいしいです」と感想を述べました。

絆の大切さあらためて実感

第11回いなわしろ民話祭りを開催



猪苗代に伝わる民話に聞き入る聴衆ら

いなわしろ民話の会(鈴木清孝会長)が主催する第11回いなわしろ民話祭りは7月22日、町むかし体験館で開かれました。

会場内では、会員ら19人が民話や昔の暮らしの話などをかわるがわる披露し、会場に詰めかけた約160人の聴衆を楽しませました。

今年は、野口英世の母シカが英世に宛てて書いた手紙から100年を迎えたことにちなみ「手紙の朗読とシカさんの語り」と題した特別コーナーを開催。来場者らは、熱心に耳を傾け、絆の大切さを感じ取っていました。

シーズン中の無事故を祈願

5浜合同浜開きと安全祈願祭実施



シーズン中の無事故と来客を祈願する関係者ら

猪苗代湖5浜の合同浜開きと安全祈願祭は7月11日、志田浜で開催されました。

式典に先立ち、主催者を代表して志田浜観光事業協同組合の圓谷由比理事長が「原発事故による風評被害が落ち着いてきたので、お客さんに安心して来てもらえるのではないかと。5浜だけでなく、猪苗代湖全域で事故がないようにしたい」とあいさつしました。

祈願祭には、町内の商工観光業者、警察や消防関係者など約20人が出席。玉ぐしをささげて今シーズンの無事故を祈願しました。